

スカイAカップ第44回関西オープン[男子]ボウリングトーナメント

8名によるラウンドロビン対戦表

ROUND	9 L - 10 L	15 L - 16 L	21 L - 22 L	27 L - 28 L
1	☆谷口悠斗77 vs 須田 毅	徳久 恵大 vs 田中 棕也	安里 秀策 vs 藤村 隆史	山本 勲 vs 川添 奨太
2	藤村 隆史 vs 川添 奨太	安里 秀策 vs 山本 勲	須田 毅 vs 田中 棕也	☆谷口悠斗77 vs 徳久 恵大
3	安里 秀策 vs 田中 棕也	☆谷口悠斗77 vs 川添 奨太	山本 勲 vs 徳久 恵大	須田 毅 vs 藤村 隆史
4	徳久 恵大 vs 藤村 隆史	山本 勲 vs 須田 毅	☆谷口悠斗77 vs 安里 秀策	川添 奨太 vs 田中 棕也
5	山本 勲 vs ☆谷口悠斗77	田中 棕也 vs 藤村 隆史	徳久 恵大 vs 川添 奨太	安里 秀策 vs 須田 毅
6	須田 毅 vs 徳久 恵大	川添 奨太 vs 安里 秀策	田中 棕也 vs ☆谷口悠斗77	藤村 隆史 vs 山本 勲
7	田中 棕也 vs 山本 勲	藤村 隆史 vs ☆谷口悠斗77	川添 奨太 vs 須田 毅	徳久 恵大 vs 安里 秀策
P・M	8位 vs 7位	6位 vs 5位	4位 vs 3位	2位 vs 1位

■ ラウンドロビン方式（総当たりボーナスポイント方式）の説明

今回、予選・準決勝を勝ち抜いてきた上位8名の選手による決勝の競技方法をラウンドロビン方式で行います。

一人の選手が他の7名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、`ラウンドロビン`の名称がつけられたとされています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント(ボーナスポイント)が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン(ポイント)が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなくまた敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50、C選手はプラス15となります。またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦7ゲームが終わって、1位と2位・3位と4位というように順位(ポジション)ごとに対戦していくポジションマッチ1ゲームを行いTV決勝進出者(上位3名)を決定致します。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となります。A選手は何勝何敗か？

ポイントはどのくらい稼いでいるのか？プロの熱い戦いに期待して下さい！！

■ 決勝ステップラダー（3名によるステップラダー方式）

